

空知の研究活動

研修部長 芦別市立芦別中学校
校長 松 井 正 明

1. はじめに

空知校長会では、第4次3か年計画の最終年次研究を推進した。今次基本構想では、基本主題を「新たな知を拓き人間性豊かな社会を築く日本人の育成を目指す学校教育の推進」とし、校長の指導力向上及び学校経営の充実、発展を目指している。そのために、会員相互が切磋琢磨し、質の高い研究を目指した取組を進めている。

本年度は、第4次3か年計画のこれまでの研究の成果を踏まえ、積み上げてきたものを財産として研究活動を進めた。推進に当たっては、過去に培った11月から1年間を通して行う研究のサイクルに基づき、各市町校長会が他市町とブロックを構成し、共同研究を通しての研究・実践・検証に努めた。

今年度は、より充実した研究推進体制や協議内容の取組を行い、迎えた8月の空知校長会研究大会では、校長としての経営戦略を踏まえた全道小十勝大会の提言進捗状況報告や5つの提言をもとに、ワークショップ方式の話し合いを活発に行い、意欲あふれる研究大会となった。

2. 研究計画

1) 「第54回空知校長会研究大会」

- ・期 日 平成28年8月4日(木)
- ・内 容 5協議題を5分科会(15グループ)にて研究協議
教育講演「学校の危機管理とアンガーマネジメント」
講 師 桜 井 妙 氏(コミュニケーション・デザイン結 表取締役社長)

2) 「研究紀要」

空知校長会の研究成果や、各市町校長会の研修活動にかかわる概要を収録するとともに、学校経営の参考資料を編集し、会員の研修活動の充実に資する。

- ・内 容 ①空知校長会研究大会の概要と分科会報告 ②講演記録
③研究ブロックの研究の概要 ④道小提言の概要 ⑤研究の成果と課題
- ・発行等 A4版、平成28年11月15日発行

3) 各種校長研究大会への参加(上部校長会の研究会に積極的に参加し、職能向上に資する。)

- ・第59回北海道小学校長会教育研究小樽大会(参加34名)
- ・第68回全国連合小学校長会研究協議会・高知大会(参加6名)

4) 各種研究団体への協力

- ・今年度は、教育関係団体の全道的な研究大会は、ありませんでした。

5) 管内各種研修会への協力

- ・新任教頭研修会・教頭研究大会・教頭実務研修会助言者等・空知教育講演会

6) 研修だよりの発行 ・年に3回発行

3. 本年度空知研究大会の概要

1) 基本主題

「新たな知を拓き、人間性豊かな社会を築く日本人の育成を目指す、学校教育の推進」
～ふるさと空知から世界を見つめ新しい社会の形成に向けて挑む子どもを育てる学校経営の推進～

2) 各分科会の協議題・主題・研究領域・リーダーシップの視点

(1) 第1協議題「学校経営」

〈主題〉「創意と活力にあふれた組織・運営体制を築く学校経営」

・重点研究領域「教育改革を進める学校づくりと校長の在り方」

〔視点〕 ○新たな地を拓く資質・能力を育成する学校経営改革の推進

○学校づくり・人づくりを確かにする学校評価の工夫

(2) 第2協議題「教育課程」

〈主題〉「質的向上を目指す教育課程の編成・実施・評価・改善と学校経営」

・重点研究領域「社会形成能力の育成を目指すカリキュラム・マネジメントと校長の在り方」

〔視点〕 ○社会に貢献する力の育成を目指す教育活動の創造

○自立した社会人を育成するためのカリキュラム・マネジメント

(3) 第3協議題「指導・育成」

〈主題〉「教職員の資質向上を担う協働体制を構築する学校経営」

・重点研究領域 この分科会においては、年度別に提示せず、総合的に取り扱う。

〔視点〕 ○教職員としての資質や能力を高め、指導力と意識改革を促す研修の充実

○確かな展望と変化の時代に対応する、次代を担うミドルリーダーや管理職の発掘・育成

(4) 第4協議題「危機管理」

〈主題〉「学校の安全・安心の確保を目指す学校経営」

・重点研究領域 「いのちを守る安全教育の推進と校長の在り方」

〔視点〕 ○自ら判断・行動できる子どもを育てる安全教育の推進

○地域との連携を図った意図的・計画的な取組の推進

(5) 第5協議題「教育課題」

〈主題〉「新たな教育課題に対応する学校経営」

・重点研究領域「勤労観・職業観が持てる社会形成能力の育成と校長の在り方」

〔視点〕 ○自尊感情を高め、自己や他者への積極的な関わりを深める教育課程のマネジメント

○身の回りの仕事や環境に関心を持ち、目標に向かって努力する態度の育成

3) 教育講演

今年度は、これまで要望の強かった教育関係以外の経歴をもつ講師を招き、危機管理とアンガーマネジメントを中心に、コミュニケーション・デザイン結 代表取締役社長 桜井妙 氏による「学校の危機管理とアンガーマネジメント」と題した講演会を実施した。これまでの数々の具体的な事例と北海道の素晴らしさを交えながら、人間関係の円滑な進め方を考えさせられる貴重なご示唆をいただいた。

4. おわりに

第4次3か年計画の最終年次研究が、各ブロックによる共同研究体制をベースに全会員の協力により終了となった。今年度は、これまでの研究を基盤に、更に発展させることを目的に加えて取組を進めた。学校統廃合等を含め空知校長会を取りまく環境が変化する中、研究大会終了後は1年間の研究の成果と課題について検証・検討を行った。今後も研究の連続性を図り、空知校長会の研究が、子どもたちの健全な成長につながり、「空知の教育の一層の充実」に向けて実りある研究を着実に進めていく。